

令和7年度 住之江区区政会議

第3回すこやか・まちづくり部会 会議録

1 開催日時 令和8年2月18日（水）19時00分から20時00分まで

2 開催場所 すみのえ舞昆ホール（住之江区役所2階）

3 出席者

〔区政会議委員〕

三木 康彰 委員、魚谷 靖子 委員、久保 正恵 委員、鈴木 明 委員

高田 尚史 委員、谷本 さやか 委員、古川 勉 委員

（出席7人／委員数7人）

〔住之江区役所〕

玉置 信行 副区長

井平 伸二 協働まちづくり課長

来馬 恵 ICT・企画担当課長

松本 勝也 保健福祉課長

岩本 穰 生活支援課長

福田 佳代子 保健担当課長

川井 圭史 協働まちづくり課長代理

岸田 詠美子 ICT・企画担当課長代理

大家 典子 保健福祉課長代理

片山 佳子 保健副主幹

鞍馬 由実 生活支援課長代理

本田 弘美 保健副主幹

#### 4 発言内容

○井平課長

それでは、令和7年度住之江区区政会議第3回すこやか・まちづくり部会を開催いたします。

事務局の協働まちづくり課長の井平です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日出席いただいております委員のご紹介をいたします。お手元の名簿にてご確認ください。

会場に皆さんお越しいただいている委員は、三木部会長、魚谷委員、久保委員、鈴木委員、高田委員、谷本委員、古川委員です。

本会議は、午後7時現在、全委員7名中、7名のご出席をいただいておりますので、定足数である委員定数の2分の1以上を満たしておりますことをご報告いたします。

住之江区役所の出席者につきましては、配席図でご確認ください。また、発言する際には、役職と名前をお伝えいたします。

この会議には個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。また、本日の傍聴者はおられません。

なお、大阪市では、近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や職員の働き方改革の観点を踏まえ、軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますので、ご了承ください。

本日の議論の内容は、3月17日に開催予定の区政会議全体会で部会長からご報告いただき、情報共有を図ってまいりたいと考えています。

また、議事録につきましては後日公表となり、公表する際は、発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますようお願いいたします。広報や記

録のために写真を撮影しますので、あわせてご了承ください。

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、一番上に次第がありまして、その次に「すこやか・まちづくり部会」の委員名簿、裏面が全体名簿になっております。その次が配席図。その次に資料1として、「令和8年度住之江区運営方針（案）について」という資料です。その次に、資料2「いただいたご意見と対応方針（令和7年度第2回区政会議）」という資料。次に資料3「区政会議について」、裏面が「地域活動協議会について」となっている資料です。

以上です。資料に不足等はございませんでしょうか。何かありましたら、またお声かけください。

本日の会議ですが、現在策定に向けて進めております令和8年度住之江区運営方針（案）についてご報告し、来年度の各取組がよりよいものとなるようご意見をいただきたいと思っております。

時間は20時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

なお、今回の会議から資料の様式を変更し、より見やすく、分かりやすい内容となるよう工夫いたしました。具体的には、中長期的な施策の方向性を示した「将来ビジョン」と、単年度ごとのアクションプランである「運営方針」に関する解説を記載したほか、課題設定の根拠となる現状・データを記載し、経営課題ごとに戦略や具体的取組を確認いただけるよう構成しております。

それでは、ここから議事を開始しますので、部会長にお任せしまして進めていきたいと思っております。三木部会長、よろしくお願いいたします。

○三木部会長

ありがとうございます。それでは、部会の議事を進めます。

本日は、令和8年度住之江区運営方針（案）について議論いただきます。早速で

ございますが、事務局からまたお願いします。

○井平課長

それでは、私から説明させていただきます。

運営方針とは、住之江区が重点的に取り組む課題を挙げて、その課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっており、令和8年度も「子どもに関すること」「地域と福祉に関すること」「防災防犯に関すること」の3つの経営課題を掲げています。

当部会では、そのうちの経営課題2「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」について、ご議論いただくこととなります。資料には、この課題でめざす主なSDGsゴールを掲載していますので、参考にご覧ください。

それでは、資料1「令和8年度住之江区運営方針（案）について」をご覧ください。

まず、1ページには、先ほど少し説明しました「住之江区将来ビジョン」と「運営方針」「区政会議」の関係を整理した内容を掲載しています。それぞれの説明も記載していますので、ご確認をお願いいたします。

次に、2ページに令和8年度の運営方針（案）を掲載しています。区の目標としましては、「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざして取り組んでまいります。その他、区の使命と運営方針の基本的な考え方として、区政会議の3つの部会で意見交換していただく3つの考え方を記載しております。当部会においては、2つ目の「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」について、意見交換を行っていただきます。

3ページと4ページに、住之江区の現状、課題についてデータでまとめたものを載せております。

それでは、まず経営課題2-1「支え合い安心して暮らせるまち」の取組についてご説明いたします。

5 ページをご覧ください。

主な戦略としまして、様々な支援制度の下、福祉サービスを総合的に提供するとともに、地域において誰もが支え合い、生き生きと豊かに尊厳を持って暮らすことができるよう取り組みます。地域内で住民同士が互いに支え合い、それぞれが自分らしく活動できるコミュニティづくりが重要であり、地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気かけ、つながり、支え合う地域づくりを推進してまいります。

次、6 ページをご覧ください。

具体的取組 2-1-1 「安心を提供する福祉施策の推進」の取組としまして、区民の困り事に対してよりの確な支援につなげられるよう、相談対応力向上のため、「気づき」や「感度の向上」に関する研修を実施するとともに、個別の支援に当たっては、関係機関の情報共有・連携のため、総合的な支援の場としてつながる場を活用してまいります。

7 ページをご覧ください。

具体的取組 2-1-2 「地域福祉の充実」の取組としまして、ちょっとした声かけや見守りといった地域福祉の取組への参加を促進できるよう、各地域の取組や課題を把握し、啓発を行ってまいります。また、地域での見守り活動の目が増えるよう、各地域において、見守りあったかコーディネーターによる「見守りあったかネットサポーター養成講座」を開催してまいります。また、区社協と連携し、要援護者の見守りや地域福祉活動に関する課題や効果的な取組を各地域と共有するとともに、見守り相談業務などの地域福祉活動や研修等において ICT 活用を推進するよう、地域、関係機関とともに検討を行ってまいります。

次に、経営課題 2-2 「活力と魅力のあふれるまち」の各取組についてご説明いたします。

8 ページをご覧ください。

主な戦略としまして、地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域の特性などそれぞれの地域の実情に合った必要な支援を行うとともに、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進めてまいります。地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができるまちづくりをめざし、ICTの活用を図りながら、このような機運を高めるための環境や仕組みづくりを進めてまいります。

9 ページをご覧ください。

具体的取組 2-2-1 「多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」の取組としまして、まちづくりセンターと連携して、地域の実情に応じて地域活動協議会の自律運営に向けた支援を行ってまいります。また、地域内外の人材、資金、地域情報等の地域資源を活用しながら、次世代の担い手確保等の地域課題を解決するために、まちづくりセンターと連携しながら企業・NPO・学校・地域交流会等を開催し、交流会等でできたつながりを基に地域課題の解決に向けた協働取組がさらに活発になるよう支援を行ってまいります。

10 ページをご覧ください。

具体的取組 2-2-2 「地域の魅力の共有と発信」の取組について説明いたします。まちづくりセンターと連携し、地域広報紙の発行に加え、SNSや情報サイト等を活用した地域活動協議会の情報発信等の取組を支援してまいります。区広報紙等において地域活動協議会の紹介をするなど、地域活動協議会の認知度向上に向けた情報発信を行ってまいります。SNSや情報サイト等の閲覧・活用の促進を目的に、スマホの使い方を習得するための支援を行ってまいります。

資料の 11 ページ、12 ページに、これまでの取組状況等を、写真をつけて附属資料として添付しておりますので、参考にご覧ください。

説明は以上でございます。より効果的な取組になるよう進めてまいりますので、委員の皆様からご意見をいただきたく存じます。また、ご意見をいただきたい事項を

机上に配付しております。地域の運営や取組、行事に新たな人に参加してもらうための工夫について、また地域や区の情報を多くの人に届けるための工夫について、ご意見をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、部会長よろしくお願いいたします。

○三木部会長

ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明を受けて、各取組についてのご意見やよりよい取組にするために必要なこと、また事務局から特にご意見をいただきたいと依頼のあった内容について、ご意見やご提案をいただければと思います。なるべく多くの委員からご意見をいただきたいと思いますので、簡潔にお願いします。

どの取組からでも結構です。よろしくお願いいたします。

では、皆さん順番に何か。去年の意見はどこかに載ってるんですけど。

○井平課長

いただいた意見になります。

○三木部会長

何か去年の意見も踏まえて何か新しいアイデアというか、ございませんか。目的は誇りを持って、何でしたっけ。

○井平課長

「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざしてになります。

○三木部会長

心から誇れるまち。

○井平課長

誇りに思えるまち。

○三木部会長

誇りに思えるまちです。

はい、どうぞ。

○高田副部長

はい。委員の高田です。お世話になります。

自分がちょっとホームページの仕事をしてるから気にはなってるんですけど、地域それから区の情報を多くの人に届けるための工夫ということも書かれていますし、また7年度や8年度でもそうなんですがSNSを活用してというのがあるんですけど、すみません、ちょっと実際、住之江区のSNSを全部見たわけではないんですけど、インスタですとかXやThreads、それからLINEの活用などもあると思うんですけど、これはどの部署でそれをご担当されてて、どれぐらいの頻度で情報発信をしているのか、それからあといわゆるフォロワーさんですね。どれだけの人がファンになって見てくれるのかというところがちょっと教えていただけたらありがたいなと思っています。

○三木部長

事務局さん、答えられますか。

○来馬課長

ICT企画担当課長の来馬と申します。よろしくお願いいたします。

広報の担当は、こちらの総務課のICT・企画担当でやっております。

SNSですけど、現状は、Xと区役所のFacebookと区長のFacebookとあとLINEも活用しております。Instagramのほうは開設しておりませんで、今、来年度に向けて開設しようとしているところでございます。

フォロワー数は手元に詳細がないので正確な数字をお伝えできませんが、Facebookは途中でアカウントを切り替えたこともあって、区のFacebookのほうは100人弱ということになっております。区長のFacebookのほうはフォロワー数も多く300人ほどです。Xの閲覧数は後ほどお伝えします。今後より活用したいなと思っております。

情報発信の頻度ですけれど、Xのほうは各担当にも情報発信をお願いしております、不定期になってます。LINEのほうは運用の制限もあって、月に3回か4回ぐらいの発信となっています。主に広報紙の発行などにあわせて発信をしております。

以上です。また詳しくは確認してお伝えしたいと思います。

○高田副部長

はい、ありがとうございます。区長のFacebookはフォロワーなので、たまに拝見しています。ありがとうございます。

やっぱり3桁っていう人数は少ないと思うんですよね。人口からしてもそうです。ただ、こういうのを使っている年齢層からすると、どうなのでしょう。ちょっともう少し若い人向けに発信していく必要があるかなと思います。

高市さんのを引っ張り出すわけじゃないんですけど、あの人が出てきたもので政治にちょっと興味を持たれた若い人が増えたと思うんですね、やり方とかは置いて。あの人たちが駆使したのはSNSで、しかも広報の代わりにTikTokという動画を使って。こういうことしてるんだよ、これからこういうふうな未来になるんだよということをやっぱり言ってたと思うんです。ということは、そういうところにちゃんとターゲットを絞って、情報を伝える。住之江区は、おじいちゃん、おばあちゃんの区じゃないよって、もっと君たちの区なんだよっていうところをもっと何かテーマを含めて、興味があるものとかもそうなんですけど、やってもいいんじゃないかなと思います。特に先ほどお話しされてましたけど、護国神社でお相撲さんの部屋が来るということであれば、それはそれで一つの話題にもなりますし、今だったらちょっと土俵の稽古を見られますよとかっていうね、そういったちょっとしたことなんですけど、そういったことが出てくるだけでやっぱり浸透もしていくし、僕らの住んでる区ってこんなことをやってるんだっていうのを身近に感じてもらえるというところを、やっていかないといけないんじゃないかなというふうに思ってます。

○三木部長

ありがとうございます。また、ほかの区のSNSとか区長だよりとかと比較して、大阪一をめざすとか。フォロワー数を何か、ベンチマークがいいと思います。お願いします。

○来馬課長

XとLINEのフォロワー数が3,700ぐらいあります。

○高田副部長

まだあれですね、はい。

○来馬課長

区のFacebookは、一定数のフォロワーがいましたが、Facebookのアカウント変更により、今は100人弱ということになってしまってる状態です。

○高田副部長

分かりました。じゃあ、また盛り返す可能性はあるということですね。

○来馬課長

そうですね。ターゲットを絞ってやっていきたいと思ってますので、また広報方針を変更する可能性もあります。

○高田副部長

はい、分かりました。ありがとうございます。

○来馬課長

また検討させていただきます。

○三木部長

ほかに何かアイデア。

はい、どうぞ。谷本さん。

○谷本委員

前回から何回か町会に入ってもらうため、この地域の運営や取組、行事に参加してもらうことのやっぱり最初のステップは町会に入ることかなと思うので、町会に入

るためのいろんな工夫をというふうなことで、町会費をSNSというネットのアプリみたいなので集められるようにとかいろいろ意見を言わせてもらったんですけど、なかなか難しいこともあると思うんです。やっぱり町会に入ってもらう何かきっかけをつくっていかないといけないなと思っているのと、あとさっきおっしゃっていた若い世代の人たちに、この住之江区のいろんなイベントに参加してもらおう。要は、お年寄りの方とか子ども向けのイベントは結構たくさんあると思うんですよ。すごい毎月のようにいろんなイベントをやって、住之江区ってすごいイベントが多い区だと思うんですね。だけど中間層、高校生とか大学生とか社会人になった人たちとかが参加できるような行事がちょっと少ないかなというふうに思うので、これも個人情報とかあるかもしれないので難しいかもしれないです。例えば、昔、同窓会ネットみたいなのがあったと思うんですよ。それで例えば住之江区の中学校とか小学校とかの同窓会ネットみたいなのを住之江区につくってもらって、例えばこの間みたいな成人式のとときに何か若い人たちの意見を募る場を設けるとか、何かこういう、どういうイベントだったら参加してみたいですかとか、こんなのみんなで作ってみませんかみたいなのを住之江区から何か。今、何かって言われたら分からないですけど何かイベントを言うてみたりとか、それを運営してもらおうのを若い人たち自身にやってもらおうとか、企画も運営もやってもらおうみたいなのを、例えばそういうイベントを企画したら、若い人たちが入ってくることもできるんじゃないかなっていう希望的観測なんですけど、やってみたいなとかは思ってます。ちょっと難しいかなと思うんですけど、やっぱり同窓会という卒業してから同窓会があったときに、同級生たちと話して一緒にまた、何か学校のとときみたいにいろいろやってみようとかっていうノリになることはあるんじゃないかなと思うので、その勢いに乗って成人式やそういうときに何かポンと意見を投げたら、もしかしたら若い人のパワーで何か新しい発見とかイベントが生まれるかもしれないなっていう期待を込めて、今ちょっと意見を言ってみました。なので、そういう若い人たちが参加できるようなイベントの何か、私は全然うまいこと思

いつかないんですけど、何かあればいいなというふうに今思ってます。

以上です。

○三木部会長

ありがとうございます。

同窓会ネット、僕と同窓会ネットは訃報ばかり最近来て。でも、恩師とかね、お世話になった先輩が亡くなりましたよっていったら、やっぱりジーンとくる場合もあるし、若い人が亡くなったとかですね。いろんな訃報もやっぱり一つの何ていうかな、コミュニケーションのツールかなと思いますので。先ほどおっしゃってた、すみのえTVさんと何かオフィシャルに協定をされたとかいうこともあるし、ああいうのがいろいろもっともっとパワーアップしていく可能性もあるかなと思って聞いてました、はい。

ほかに。どうぞ、魚谷さん。

○魚谷委員

魚谷です、はい。

若い人の視点というか感覚というのが、もう私自身が高齢者なもんですから全然考えが及ばないんですけど、この資料を見てみましても、もうあったかネットサポーターとか地域の高齢者向けのいろんな行事、もう既にずっとやっていますよね。いろんなことを本当にやっています。毎日何か行事があります。でも、そこに来てくださる方は、ほとんど顔ぶれが一緒なんです。お元気な方は、もうあれもこれもあれもこれもって参加して下さって、参加できない方はずっと家の中にいらっしゃるってことなんですよね。だから、そういう方たちを掘り起こさなきゃいけないんですけど、やっぱりご自分の意思がないと出てこられない、無理やり連れ出そうなんていうことはとてもできないですから。私は民生委員の立場として、やっぱりそういうおうちから出られない人とかご近所づき合いができない人に目を配らなきゃいけないなって思いますし、やっぱり基本の隣近所、仲よくして暮らしていただく。そしたら、

おうちの中でちょっと転んでらっしゃっても、あの人ちょっとっていうことで気がついていただける。救出につながるというようなことが私の、古川さんと同じ町会なんですけど、その点がすごくうまくいってるんです。マンションとか新しい建物の中ではそういうことは起こらないんですけど、古くからある、もう50年ぐらいたってるようなおうちに皆さん住んでおられる方が多いんですけど、本当にご近所さんがもう本当にいろんな人を目配りしてくださって、「あの人、昨日こけはったんやわ」って、「救急車を呼んでどここの病院に行きはったんやで」って言って、一々私に教えに来てくださるので、会長さんとも共有しながらすごくその点は助かっています。

だから、そのイベントをしてどうのこうのというより、日々の暮らしを無事に暮らしていただきたいというのが私としてはもう一番、今、肝に銘じているところです。

○三木部会長

はい、ありがとうございます。

この前もNPOの多職種の方々の集まりが、ここでありました。社長さんたちもたくさん、100人ぐらい来られてて、そういう方々とね、協力して地域の何かいろんなことを企業さんと一緒にやるというのもいいと思うし、そこには学生さんも来てたんです。学生さんね、ボランティアで何かまちづくりに役立ちたいという人も来られてたので、学生さんたちのカリキュラムの中にね、そういう見守りとかそういうものを入れていってもらえたらね。そういうクラブをつくったりしていったらいいかなとは思いますがね。

○魚谷委員

何か高齢者の人と学生さんと一緒に暮らすとかっていうのを、テレビで見たりしますよね。

○三木部会長

そういうのもありますね。

○魚谷委員

保育園の子どもさんと、おじいちゃん、おばあちゃんが一緒に食事をするとか。

○三木部会長

ケアハウスみたいにしてね。そういうふうに学生さんが一定の役割をしてくれたら家賃を半額にするとか、そういうシステムですよ。区役所でも何かそんなのを考えて。学校は結構多いですね。

○井平課長

なかなか難しいんですけど、特に今聞いてて思ったんですけど、安立のところでは、すごいつながりがあって、ありがたいなと思うんですけど、区全体でいうとなかなかそういう関係性が薄くなってきてて、隣近所であんまりしゃべらへんっていう状況がやっぱり進んでいると思ってまして、そこを何とかしたい。魚谷委員のところみたいに、そういう関係性につながってってくれたら一番いいことかなと思う。情報を伝えるにしてもやっぱり口コミで伝わってることが一番多いですし、そういう関係性があるって初めていろんなつながりができると思うんですけど、そこがやっぱり難しいなと思ってまして、普段からこれといってされてることはないんかもしれないですけど、その辺りをどうしていったらいいかなというようなことを、実際その地域に住んではって感じておられることとかをお聞かせいただいたらありがたいなと思ってます。

○三木部会長

はい、ありがとうございます。

ほかに。どうぞ、鈴木さん。

○鈴木委員

すみません、鈴木です。

僕が今住んでるところは、住んでもう40年ですわ。当然子どもたちはもう結婚して、南港なんですけども出ていってます。子どもの頃は、お祭りとか野球大会とかソフトボールとかキックベースとかやってたくさん子どもがおったので、今はもう

チームをつくれる状態でないので何とかならんかなと思っとるんですけどね。

それから、何か若い人が来てほしいなと思ってるんですけどね、何せ年寄りばかりです。

以上です。

○三木部会長

もうそれはね、区も同じ悩みです。外国の人、若い人が来てくれて出産して税金を払ってくれて。

○井平課長

南港はめちゃめちゃ空き家が多いわけじゃなくて、めちゃめちゃ住みよい町で皆さん出ていきはらへんですね。だから子育て世代から住んではって、高齢になってきてもみんな住んではって、そこがちょっと矛盾するんですけど。環境がよくて住みやすいというところと、高齢で一人暮らしが増えてるんでそこをどう見守っていくのかというところと、難しいところはあるんです。若い人来てもらったらいいんですけど、お年寄りにかわってって言うわけにもいきませんし、そこがまた難しいところで。うまいことなっていってくれたらいいかなとは思ってるんです。

○鈴木委員

子どもが同じ地区に住んでくれたらね、いろいろ来やすいんですけどね。ちょっと南港から出ていってしまうのがね。

○三木部会長

そうですね。結構、南港でも住之江区でもそうですけど加賀屋でも、両親に近いところに住んでるとい人が結構おられるとも思うんですけど。

○鈴木委員

それだったらいいですね。まだ若い子が残ってくれてるんですね。

○三木部会長

ええ。ほかに何か。

○玉置副区長

すみません、副区長の玉置です。本当にいつもお世話になっております。

今のお話しのことで言うたら、すごい特効薬にはなっておりませんが、ちょっとだけご紹介させていただきたいことが一つありますけれども、今、藤井区長もですね、特に住之江区で育った子どもたちが一旦は住之江区を離れたりすることもあるかもしれないけども、また戻ってきてくれる。そこで次の世代へというふうな形でというようなことで、そうしようと思ったら今の子どもたちに何か住之江区にいたらそんなことに参加できるんだみたいなことができるというのをつくりたいなというようなことを言ってます。

具体的には今年度に取り組んだのがですね、区長がスポーツの関係ですごくトップの方とか知り合いになっておられたりという、そういうネットワークづくりにも長けておられますので、例えば今年の夏はバレーボールのチームですね。女子チームの方に、バレーボール教室というのを小中学生にやっておりますというふうなことであったりとか、去年12月でしたら南港の野球場で小学生を対象に野球教室をということで、実は高野連とか履正社高校の野球部に直接来てもらって教えたりとか、それも区長がトップセールスで履正社高校の監督に声をかけたりとかいうふうなので、それに実はPTAの方にもこんなことをやりたいんです、ご協力をお願いしたいとかいうのはやりました。

単発的な取組ですし、それがすぐ特効薬になるわけじゃないんですけど、今の区長としてもまさに鈴木委員がおっしゃっておられたように、やっぱり子どもというかファミリー層に来てもらおうと思ったら住之江区の今の特性を生かして、何かちょっとこんなことがほかの区と違ってできるんだとかちょっとでも思ってもらえるようにですが、これからほかにもいろいろと企画を区長が練ろうとしておりますので、それが全てではないんですけどもちょっとご紹介だけさせていただきました。

○三木部会長

はい、ありがとうございます。

僕も知ってる水泳、区民プールに元オリンピック選手の千葉すずさんが来たりとかしてるけど、あんまり広報されてなかったりしますよね。あと、お相撲さんとお相撲を取ろうみたいなのがよくテレビで、ニュースであるけど、そういういろんなチャレンジをされたらいいと思います、話題になるような。それで本当に東京や名古屋に行った子どもたちの世代が帰ってくるかなと予想ね、どうかなと思うので、やっぱり南港らしい、最近南港に行っても車は結構走ってるし、もっと南港らしくね、もっと緑もきれいに刈り込んで雑草とかきれいになってもらって、きれいなまちづくりをもう一回してもらって、南港って本当にすてきだなというまちづくりにされたらいいと思うし、大阪市内で区民マラソンをやっているのは多分住之江区だけだと思うので、今回残念だったけど区民マラソンをもっと盛り上げていくとかだと思うんです。あと、やっぱり最近では子どもが自然と触れ合うような町で子どもと過ごしたいということで、田舎に行く人も多いというけど、南港は田舎じゃないけど土地は広いし安全だし、そういうのをもっと子育ての世代にアピールできる町だと思うんですね。その辺をもっともっとアピールされたらどうかなと思いますね。はい、ありがとうございました。

ほかに久保さん、どうですか。

○久保委員

いや、もう全然。皆さんの意見を聞いてうんうんってもう聞くだけが精いっぱい、なかなか。

○三木部会長

そうですか。また何か考えといてください。

古川さん、どうでしょうか。

○古川委員

お年寄りのことなんですけどね、SNSとかLINEでの連絡の取り合いということはね、どうしても寂しいなと言う人もおられるんですよね。うちらは町会として、

掲示板とかはよく見ていただいておりますので、町会費、町会のこともちょっとお話があったと思うんですけど、町会費は何に使ってるねんという方もおられるみたいで、そういうのは何に使ってるという、使ってるよというお知らせを回覧で回してほしいとかいう方もおられますし、ソフトボールとかいろんな、僕らはちょっと野球しかやってないんですけど、ソフトボールとか野球、軟式野球をやっておられる方がおられて、子どもさんらがたくさんおられましてちょっと教えてほしいなというところがありましたらね、企業さん、野球をやってる企業さん、軟式なんですけど、硬式のようなレベルの高いところではないんですけど、そういう方々もまた一緒に教えていただけるということもあります。皆さん大学を出て野球をやっておられる方ばかりなので、そこそこの技術は持っておられますので、そういうのがありましたらまたおっしゃっていただいたら、企業さんとも連絡を取っていただくようにさせていただきますけどね。

安立でしたら子どものソフトボール、安立小学校でやっておられますわ。ほんまに熱心にね、毎週土曜日かな、やっておられるので、皆さん楽しんでやっておられると思います。何かありましたら、野球のことでしたらちょっと、ソフトとかだったらおっしゃっていただいたら、教えていただけたところはありますので。

○三木部会長

ありがとうございます。

何か区長も黒田さんと連絡を取って何かやるみたいなお話をしておりました。

○玉置副区長

12月の野球教室のときは、北加賀屋出身のメジャーリーグも行かれました黒田博樹さんという元プロ野球の方から子どもたちにメッセージをもらいまして。それを野球教室のときに参加してくれた小学生にメッセージを披露する形ですね、そういったことも区長はチャレンジしておられますので、本当にほかにもスポーツだけではないですけどいろんなことに人脈、ネットワークを使って何とか、キーワードとしては本当に子どもの、今、子ども、若い方ばかりの話になってますけども、お年寄り

の方にも目を向けてというようなことで今取り組んでいるところでございます、はい。でも、いろんなご意見をまた引き続きいただければ。

○古川委員

あと、大和川のウナギを育てたいという人もおられるんですよ。小学校で見ていただいている、死んでいくウナギもあるんですけど、それが死の尊厳とかいろんな経験をしたらええんちゃうかなと思って、中学、小学校で水槽の中でウナギが大きくなっていくのをね、育てたいなという方もおられるんですけど、なかなかそのウナギを捕るのは漁業組合に入っていないとね、できないんですよ。今、2月ぐらいから大和川ね、上がってきてますので。あれ何ていうんやったかな。シラスか。それを捕るのには漁業組合に入らないと捕れない。おるところは分かっているねんって言う人はおるんですけど。何かを育てたいと言うてる人もおるんですけど、本人まだ仕事をやってますので、あんたがもう定年になったら皆にあれしたらええやないかいうて、今言うてるんですけど。そういう人もおられます。

○三木部会長

面白いですね。僕らが子どものときは、大和川は、はだしで水遊びをしたりもできてたし、今は危ないからできないでしょうけど昔はできてましたけどね。もうちょっと何ていうのかな、大人が見守りをつけて日を決めて、天気の良いときとか水の流れが速くないときなんかは開放日、大和川を解放するようなことをしたら面白いなって今思いましたね。すごいいいアイデア。

○古川委員

今は砂が大分上がってきますから危なくないんですけどね。

○高田副部会長

そんな深くないよね、深さは。

○三木部会長

はだしだったら今頃、足を切ったりする。やっぱり靴は履いて遊んでもらわなあ

かんと思うけど。そういう大人がちゃんと見守ってあげてやったら面白いですね。潮干狩りじゃなくて、ウナギ狩りですかね。すごいことになる。子どもがやるっていうたら漁業組合も協力してくれるんじゃないですか。

○古川委員

大体育てやすいらしいですけどね。

○三木部会長

面白いアイデアでした。

ほかに。次は久保さんです。

○久保委員

私だけ、言うてないの。

○三木部会長

僕が思うのは、結構ボートレース場もあるし、それだけじゃなくて地域で朝のときは見守り隊の人がね、頑張ってる。ああいうのも子育てする上ではいい場所だなってアピールできる。もっとしはったらいかなと思ったり、ボートレースの周りではすごい清掃の人がきれいにしてるけど、ちょっとボートレースから離れると結構ごみがいっぱいなので、ボートレース場周辺のきれいなところを見習って、地域の人それこそお年寄りも一緒に清掃を毎日するようにするとか。お花とかも歩道は大阪市の土地だけでも、お花とかそういうのもちょっと区役所からお金を出して苗を育てて植えて、季節の花を植えてきれいなまちづくりをしたら、それをきっかけに何かいろんなアイデア、見守りも含めて支え合いとか助け合いとか出てくるんじゃないかなと。さっきもおっしゃってたように、見守る見守るっていうても、何年もやってるけど実現しないとかあったけど、やっぱり行動、何か一つアクション、行動してみんなで何かやろうっていうことをやると、それをきっかけにしていろんなことが実現していくんじゃないかなと思うんですね。こんなことがいい、あんなことがいいっていろいろ理想はあるんだけど、なかなかそれは実現しないので、清掃とお花を

植えるといったら町会みんなのできることを思うし、そういうことを起点にして次は見守りでとかいろいろしていけたらなと思うんですけどね。例えば外国人の人も清掃はできるし、お花と一緒に植えたりもできるしね。お年寄りも子どもも何か、誇れるまちづくりとは、大阪市一きれいな町とか花の多い町、さざんかの町って住之江区だけでも、何か一つだけ、一つでも何か。SNS 1位というてもあんまり誇りにならへんと思うので、何かこうそういうのを具体的にしたらどうかなと思うんですけどね。

○古川委員

安立地域はすごいですね。見守りはすごい、ほんまに。

○魚谷委員

見守り隊もやっていますし。

○三木部会長

町もきれいです。

○魚谷委員

種から花を育てています、もう20年ぐらい。小学校のスペースを貸していただいて種をまいて、春まき、秋まきで年中花がというのをやってはいますけれども、町内、安立地区の公園とか小学校の花壇とかに植えて、子どもたちもそれを育ててくれてっていうのはしていますけど、やっぱりその活動をしてる人は限られた人なんですよ、みんながやってるわけではなくて。もう年中水やりから育てる段階からっていうもう、本当に年中関わってはいらるんですけど。

○三木部会長

そうですね。区役所の前もボランティアさんがやってくさって。

○魚谷委員

ええ、ああいう感じでね。

○三木部会長

大体皆さんメンバーが決まってるけど、そういう拠点拠点じゃなくて町全体をね。

だから、あなたの家の前、マンションの前とか家の前。

○魚谷委員

まあね、プランター一つでもいいわけですよ。

○三木部会長

そういうのが好きな人は結構おられてやっておられる方はいるけど、それを町全体でやったら。

○魚谷委員

好きな人は自分でやっていますもんね。

○三木部会長

ええ、もう既にやってやられています。

○魚谷委員

自分の家の周りはきれいにしていますもんね。

○高田副部会長

うちのマンションも園芸部というのがあって、この間もちょっとやってみました。

○魚谷委員

そうですね。一生懸命にやってくださって。だから、そのお花を植えるスペースもないといけないわけですよ。

○三木部会長

南港エリアは、歩道の土を耕してそこにお花を植えて。通りがかりのおじさんにやったら怒られるときがあるんですよ。けど、やってるんです。きれいなお花が咲いたら、誰かが切って取っていくんです。

○魚谷委員

中には持っていく人もあるからね。

○高田副部会長

そうそうそう、持っていっちゃうんですよ。

○三木部会長

持っていく人もいるけど、でもそれでもめげずにやっています、はい。

○魚谷委員

何でもみんなで作るっていうことは難しいですよ。好きな人がやることは続くんですけどね。

○谷本委員

子どもを見守りとかしてる人って、大概子どものこととか好きな人だと思うんですよ。子どもの安全を見守ったりとかお年寄りの安全を見守ったりとかしてくれてるんですけど。

○三木部会長

今の僕の提案は、区全体でね、そういう何か誇れる、何を誇れるようにしようって何か。大阪市一、花の多いごみの少ないまちづくりをしましょうというスローガンをつくることだと思うんです。今までのやり方とは違うと思うので、好きな人だけがやるんじゃなくてみんなでやりましょうというふうにする。しないと実現しないと思う。僕はトライアスロンとかウルトラマラソンとかやってたんですけど、隠岐の島1周走るウルトラマラソン、100キロマラソンなんですよ。隠岐の島っていったら後醍醐天皇とかが島流しになった島ですけど、走ってるともうすごい各家の前にすごいお花がいっぱいあってお掃除もきれいにされてて、やっぱり品のある島やなっていう感じがしましたけど。住之江区もね、大阪マラソンがあるときは、すごいきれいにしてくれてたけど。

○魚谷委員

そのときだけですか。

○三木部会長

そうですね。ああいうまちづくりをされたらいいと思いますけどね。

○谷本委員

うちの小学校なんですけど、近くに住んではる方が、いつも小学生が登下校する時間帯に立ってはるんですよ。それを聞いたら、子どもを見守ってるんやなって思うじゃないですか。違うんですよ。子どもの声がうるさくならないように、騒いでる子がいたら怒るんですよ。というのが、奥さんが病気を患ってるらしくて、子どもの声で精神がやられるらしいんですよ。子どもにうるさくしないようにって言って学校にもクレームを入れてたりとか、それでこの間、校長先生とちょっとバチバチになって警察沙汰になったみたいなんですけど。何かそういうのもあったりとか、この間これうちの町会の総会でちょっと話題になった話なんですよ。だから、あそこを通るときは子どもが騒がないようにって。でも、子どもにそういうのを言うわけにもいかんしなみたいな感じで。

○三木部会長

それはやっぱり通学路を変えてあげたらいいと思う。

○谷本委員

それがもう、小学校のもう通りなんですよ。小学校の前の通りなんですよ。

○高田副部会長

そこ通らなあかんのですね。

○谷本委員

そこを通らないとみんな行けないんですよ。普通の見守りの人も立ってはるんですよ、そこって。車もよく通るとこやから。で、何か子どもが騒がないように見てはるって言ってたのと、あと単身世帯のマンションってあるじゃないですか。ああいうところの人って大体町会に入らないんですよ。引っ越しをするかもしれないとかいうのもあるんですけど、お寺があるんですけど、6時になったら鐘をつくんですよ。それがうるさいって、またそれもクレームで。やめろって言ってきたみたいで。でも、地域の人からしたら、あれは6時の鐘やから子どもは公園で遊んでたらもう6時やから帰らなとか、6時やからご飯の用意をせなみたいな感じでもう地域に根づいている

音なんですよ。だけど、ほかの人にとっては迷惑な音にもなるっていうか、もうだからその人の捉え方によっていいことも悪いことにもなってしまう。子どもの声がにぎやかでいいなって思う人もおれば、うるさいなって感じる人もいるから、みんながみんな同じように過ごせるというのは本当に難しいことやなっていうふうに感じてるので、もうそれは本当にすり合わせていくしかないんやろうなっていう。どっかで着地点を見つけていかないってというのは思ってます。誰か一人の意見だけを優先するわけにはいかないし、うん。だからといって、その少数の人の意見を見捨てるわけにもいかないから、そこはもうほんまに何とか行政とか町会とかいろんなところで意見を言って、もうすり合わせていくしかないなって思って、なかなか難しい課題ですよ。

○鈴木委員

あれやね。運動会的时候に近隣がうるさいって言う人も。

○谷本委員

そう、それもあるんですよ。運動会の日ぐらいは許してあげてって思うんですけど、でもそれでもやっぱり1日でもうるさいものはうるさいってやっぱり思う人はいるんですよ。

○三木部会長

何か言わんと気が済まへん人はいっぱいいますんでね、はい。

じゃあ、久保さんどうですか。あと10分ですから。

○久保委員

意見っていうほどのものじゃないんですけど。何ていうのかな、住之江区全体とかじゃないんですけど、私、町会のほうで、各町会のほうで何かいろいろと大きなことっていうのは、幅広くは分からないんですけど、ただ自分のところの町会でやるイベントとかあるじゃないですか。私の場合は敷津浦連合なんですけれども、敷津浦連合でいうたら「子どもスポーツフェス」、運動が、連合運動会がなくなりましたので、コロナのときで。それに代わるものはないかって、「しきつうら子どもスポー

ツフェス」というのをやっております、あと「しきつうらまつり」。あと各町会でいうたら、大きな盆踊りはもうなくなったんですけれども、そうですね、私のところの町会でいうたら人形劇団があるんですよ、クラルテさんが。そこでいろいろイベントをしていただいたり、昔やったらその横に南加賀屋公園があるんですけれども、そこでいろいろお祭りっていうんですか、そういうこともやってたんですけれども、コロナのおかげですっかりなくなりまして寂しくなりました。だから、何でしょうかね。取りあえず、自分の町会からちょっとずつこう、やっぱり皆さんもやってはりますでしょうけど、9月になったらお年寄りに何か渡すじゃないですか、生存確認みたいな。あと、ヤクルトさんが何か週に1回手渡しでヤクルトを渡すんですよ。あれも生存確認でしょうか。だから、そういう何ていうか、取りあえず自分とこの町会で少しづつ広げていったらいいのかなって。ごめんなさい、生意気なことを言いました。

以上です。何言っているのか分からない。

○三木部会長

いやいや、おっしゃるようにやっぱり地域性とかね、住んでる方々も違うと思うし、歴史もあると思うし。その町会町会ごとにね、チャレンジしていってもらおうのがすごく大事ことですね。

僕がさっき言った、区全体で何か目標をつくったらいいいというのとまた反対の意見だけど、だけどそれはすごくいいと思いますね。

はい。あと残すところ6分です。どなたか。高田さん、もう一回。

○高田副部会長

確かにみんなでというところは、目標として掲げることは必要だと思うんですけど、やっぱりなかなかどう動いていいか分からないとかどうしていいかというのはあると思うんです。さっきキーワードが出てたんですけど、好きな人がやるっていうのは、僕がかえっていいかなと思ってます。すごく好きな人がまず率先してやっていく、それを見た周りの人が私もちょっとやってみようってなったらどうぞどうぞという

ような感じで、本当それこそ地道な裾野を広げていくことになるんですけど、そういう人たちが集まれば今度はそれが飛び火して隣の町とかっていうふうに、伝染していきくんじゃないかなと思ってます。

だからこそだけでも、そういった好きな人のちょっとリーダーじゃないですけど引っ張っていけるような人は、ちょっと区からも何らかのバックアップというか、例えばそうですね、お金とかじゃなくですよ、設備も含めて何かそういうことができれば、よりちょっとその分頑張ろうかなとかいうような人が増えていったらいいんじゃないかなというふうに思いました。

○三木部会長

はい、ありがとうございます。

全くそのとおりで、先ほど意見があったいろんな意見があってなかなかそれをまとめるのが大変で、すり合わせて落としどころをつくっていくのは大変だという、それはもうどんな仕事でもそうだし、学校でも一つのクラスでもそうだし、政治でもそうだと思うんで、何とかしていかなといけんということですが、やっぱり去年も僕この会に来てたんですけども、ちょっとビジョンがね、「すべての人がいきいきと自分らしく」とか「誇りあるまちづくり」とか、精神論はあって具体論がなかったんですけどね。やっぱり具体論、具体的な目標をつくっていくことが大事かなと僕は思うんですが、おっしゃるように反対する人もおられると思うし、区としては何をというのは難しいと思うんですけど。さっきも言ったように、日本一じゃなくていいから大阪市内一、ほかの区にない何かをアピールしないと、そんなん若い人は絶対来ませんし、誰も住之江区はいいな、羨ましいなって思ってくれない。やっぱり住之江区はいいな、住みたいな、遊びに行きたいな、ええ町やなというほかの区から羨ましがられるようになるには、何か一つテーマを決めて具体的にね、これをみんなでやろうというふうにししないと、理想論というか取組の目標だけではちょっと抽象的過ぎて実現しないんじゃないかなと。話し合うだけで終わってしまうんじゃないかなっていう、去

年1年見て思いました。

はい、どうでしょうか。

○井平課長

なかなかね、難しいところではあるんですが、具体的目標というのは大事だと思いますし、それはどういう目標がいいのかっていうところについては、そうですね、また意見を聞きながら、現実的にできるようなこと。今、お話しただいてた花の話とかはやっぱりつくる話なので、なかなかみんなで一斉にというのはちょっと、すぐには難しいかなと思うんですけど、清掃とかについては、できる人が、みんなでやればいいんですけど、というようなことは考えていけるのかなっていうのもあるので、そういったところもいろいろ意見を聞きながら何か考えていけたらなと思います。引き続きよろしく願いいたします。

○三木部会長

はい、ありがとうございます。あと2分ですが、何か。

○谷本委員

めっちゃ刻んでくる。

○三木部会長

いや、この前の企業の集まり、100人も来てくれる。みんな100人もの人がええ町にしたいと思ってる人がいるんやなとびっくりしたんですけども、その企業さんから本当1,000円、2,000円でももらえたら、100があればかなりお金に。そういうのが苗のお金になるかもしれないし、別に区の予算を使わなくてもできる。やっぱり行政の予算を使うとなると手続もいろいろあるし大変だと思うし、なかなかいっても何年先になるか分からないから、民間の人たちの力を借りてやっていくのが一番手っ取り早いと思うし、区の目標をつくるって言っても確かに難しいと思うんですけど、区政会議で誰かが発表して、政治と一緒にですね。多数決で決めるしかないんで、この1年間住之江区の目標はこれにしましょうとか、5年間の目標はこれ

にしましうとかいうのを多数決で決めてね、前に進んでいくようにするしかないかな。でないと、話し合うだけで終わってしまう会議になってしまうと思うので、実効力がないと残念だと思うし。いつまでも僕たち長生きできへん。実現するまで生きてたらいけど、早く実現してほしいなと。ねえ、鈴木さん。

○鈴木委員

そうですね。

○三木部会長

今日はありがとうございました。

本日の会議内容については、区政会議の全体会において情報共有を図ることとしていますが、今回の区政会議全体会は3月17日火曜日に開催予定です。皆さんご参加ください。

事務局におかれては、本日の討論の内容を整理していただいて、全体会で報告できるように、資料の取りまとめをお願いします。

本日予定しておりました議題は以上でございますので、部会を終了いたします。議事進行にご協力いただき、本当にありがとうございました。全員のご意見が聞けてよかったです。

最後に事務局からどうぞ、お願いします。

○井平課長

部会長、ありがとうございました。

本日は長時間にわたりご議論いただき、ありがとうございました。いただいた意見を受け止めまして、今後の区政に反映していくよう取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長より指示がございました全体会で報告する資料につきましては、事務局と部会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。

それでは、住之江区区政会議すこやか・まちづくり部会を閉会いたします。全体

会は3月17日ですので、よろしく願いいたします。

どうもありがとうございました。

以下余白